

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025 年 4 月 1 日

愛知県知事
大村 秀章 殿

病院名	国家公務員共済組合連合会 名城病院
開設者	国家公務員共済組合連合会 理事長 松元 崇

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に〇をつけてください。）

①基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に〇をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－1－

病院施設番号：030403

臨床研修病院の名称：国家公務員共済組合連合会 名城病院

記入日：西暦2025年 4月 1日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。		030403		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。		名称 名城病院卒後臨床研修プログラム 番号 030403503	
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ キムラ		タビダ		役職 診療教育管理部長		
	氏名 (姓)		(名)		(内線) (直通電話 (052) 201― 5311) e-mail : sinryokyokuiku@meijohosp.com (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)		
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)		フリガナ コツカコウムインキョウガクミアイレンゴウカイ メイジョウヒョウイン					
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)		〒 4600001 (愛知 都・道・府・県) 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号 電話：(052) 201―5311 F A X：(052) 201―5318					
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) (基幹型・協力型記入)		二次医療圏 の名称： 名古屋・尾張中部 フリガナ コツカコウムインキョウガクミアイレンゴウカイ 国家公務員共済組合連合会					
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)		〒 1028081 (東京 都・道・府・県) 東京都千代田区九段南1丁目1番10号 電話：(03) 3222―1841 F A X：(03) 3222―3715					
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)	フリガナ ゴトウ	姓		タビダ		名 秀実	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入		研修管理委員会の全ての構成員 (協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。				
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入		病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。				
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)	https://meijohosp.kkr.or.jp						

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－2－

病院施設番号：030403		臨床研修病院の名称：国家公務員共済組合連合会 名城病院	
※			
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）	常勤：62名、非常勤（常勤換算）：3.71名 計（常勤換算）：65.71名、医療法による医師の標準員数：25.0名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A－3に記入		
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2023 年 9 月 1 日、告示番号：第 390 号	
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ② 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関	
	救急専用診療（処置）室の有無	① 有 (149.33) m ² 0. 無	
	救急医療の実績	前年度の件数：7,267 件（うち診療時間外：4,406 件） 1 日平均件数：19.9 件（うち診療時間外：12.1 件） 救急車取扱件数：4,168 件（うち診療時間外：2,526 件） 医師：4 名、看護師及び准看護師：3 名	
	診療時間外の勤務体制 指導を行う者の氏名等 救急医療を提供している診療科	* 別紙 4 に記入 内科系 ① 有 0. 無 外科系 ① 有 0. 無 小児科 ① 有 0. 無 その他（ 1. 一般：326 床、2. 精神：床、3. 感染症：床 4. 結核：床、5. 療養：床	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）	1. 一般：326 床、2. 精神：床、3. 感染症：床 4. 結核：床、5. 療養：床		
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）	* 別紙 2 に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。		
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第 二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）	1. 一般：13.5 日、2. 精神：日、3. 感染症：日 4. 結核：日、5. 療養：日		
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）	正常分娩件数：件、異常分娩件数：件		
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数	前年度実績：4 回、今年度見込：4 回 ※報告・届出病院の主催の * 別紙 4 に記入 下に開催した回数を記入	
	指導を行う病理医の氏名等	前年度実績：2 件、今年度見込：4 件	
	剖検数 剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 当該医療機関の剖検室	
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎	① 有（単身用：53 戸、世帯用：戸） 0. 無（住宅手当：円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室	① 有（2 室）0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用でき る環境及び医学教育用機 材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ	（37.72）m ²	
	医学図書数	国内図書：423 冊、国外図書：121 冊	
	医学雑誌数	国内雑誌：35 種類、国外雑誌：15 種類	
	図書室の利用可能時間	8：30 ～ 17：15 24 時間表記	
	文献データベース等の 利用環境	Medl ine 等の文献データベース ① 有 0. 無）、教育用コンテンツ ① 有 0. 無）、 その他（ 利用可能時間（8：30 ～ 8：30）24 時間表記 医学教育用シミュレーター ① 有 0. 無）、 その他（気管管理トレーニング）	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－3－

病院施設番号： 030403		臨床研修病院の名称： 国家公務員共済組合連合会 名城病院	
18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ ミヤケ	タカシ
		氏名 (姓) 三宅	(名) 喬
		役職 診療情報管理室長	
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他 (具体的に：)	
	診療録の保存期間	(入院10年 外来5年) 年間保存	
	診療録の保存方法	① 文書 2. 電子媒体 その他 (具体的に：)	
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	① 有 (17名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。	
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (1) 名、兼任 (16) 名 主な活動内容：インシデント・アクシデントの情報収集及び対策と職員の教育	
	患者からの相談に適切に 応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ ナルセ ユカ 氏名 (姓) 成瀬 氏名 (姓) 由佳	
		役職 リスクマネージャー	
	医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	対応時間 (8：30 ～17：15) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ① 有 0. 無 ① 有 0. 無	
	医療に係る安全管理委員会の 開催状況	指針の主な内容：医療安全管理マニュアル、医療事故防止マニュアル、発生時対応マニュアル 年 (12) 回	
		活動の主な内容：毎月インシデント・アクシデント報告に基づいての対策を検討し事故防止に努める	
	医療に係る安全管理のための 職員の研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容：医療安全管理に関する講演会の開催、医療安全ワークショップ	
	医療機関内における事故報告等の 事後対応	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：採血時の取扱マニュアルの作成 事故防止ポケットマニュアルの作成	
	20. 前年度に臨床研修を修了又は 中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了： 名 中断： 名
21. 現に受け入れている 研修医の数 (基幹型・協力型記入)			
	1 年	1 年	1 年
	2 年	2 年	2 年
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数 (326) 床÷10＝ (32.6) 名		
	年間入院患者数 (5,049) 人÷100＝ (50.4) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士 その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入)	1. 精神保健福祉士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)		
	2. 作業療法士： 2 名 (常勤： 2 名、非常勤： 名)		
	3. 臨床心理技術者： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)		
	9. その他の精神科技術職員： _____ 名 (常勤： 名、非常勤： 名)		
	精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		
24. 臨床研修に関する第三者 評価の受審状況 (基幹型記入)	① 有 (評価実施機関名：日本医療機能評価 (令和4年12月2日)) 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。		
	JCEP による評価受審の有無を記載してください。	受審状況有りの場合、結果の公表 ① 有 0. 無	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書 41

病院施設番号： 030403		臨床研修病院の名称： 国家公務員共済組合連合会 名城病院	
項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。	
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 () 名 2 年次研修医 () 名 男性 1 年次研修医 () 名 2 年次研修医 () 名	
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (1. 有 ①. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分) 病児保育 (1. 有 ①. 無) 夜間保育 (1. 有 ①. 無) 上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か (1. 可 0. 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (①. 有 0. 無) その他の補助 (具体的に：)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (①. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 ①. 無)	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	()	
	研修医のライフイベントの相談窓口	① 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無	
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 (ハラスメント相談窓口) 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容にいても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入)	研修プログラムの名称	研修プログラムの名称： 名城病院卒後臨床研修プログラム	
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)	プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。	プログラム番号： 030403503 1 年次： 5 名、2 年次： 5 名	
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ キムラ タカヒデ 氏名 (姓) (名) 木村 隆秀 所属 役職 診療教育管理部 電話： (052) 201—5311 F A X： (052) 201—5318 e-mail：sinryokyouiku@meijohosp.com URL：https://meijohosp.kkr.or.jp	
	資料請求先	住所 〒 4 6 0 — 0 0 0 1 (愛知 都・道・府・県) 名古屋市中区三の丸 1 — 3 — 1 担当部門 担当者氏名 フリガナ キムラ タカヒデ 姓 木村 隆秀 電話： (052) 201— 5311 F A X： (052) 201 — 5318 e-mail：sinryokyouiku@meijohosp.com URL：https://meijohosp.kkr.or.jp	

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の前年度の開催見込数を記入すること。
- （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に關する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称が記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「0. 無」に○をすること。
- （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EP0Cかその他を選択すること。